

---

## はじめに

郵政研究所は、総務省の施設等機関として、主に郵政事業及び情報通信行政の政策形成に資することを目的として、郵便・物流、金融・経済、情報通信、技術開発、郵政文化の各分野において、中長期的観点から基礎的な調査研究を行っています。

本年報は、郵政研究所の平成14年1月から12月までの1年間の研究活動の成果について報告するものであり、概要は次のとおりです。

「Ⅰ 研究成果」では、刊行物の発行記録を中心に成果として取りまとめています。

「Ⅱ 研究発表」では、研究発表会の開催概要、学会発表の記録をはじめとする口頭での発表のほか、部外雑誌等への寄稿など刊行物以外の成果の公表についてまとめています。「Ⅲ 研究交流」では、郵政研究所の活動にご協力頂いている先生方、海外の研究機関との交流等について記録しています。「Ⅳ 附属資料館の概要」では、郵政研究所の附属機関でありながら、その活動は質を異にする附属資料館の1年間の活動についてまとめています。

このほか、「Ⅴ 郵政研究所の組織」を掲載しており、この一冊で郵政研究所の1年間の活動がほぼ分かるようになっています。

本年報によって、当研究所へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

平成15年2月

総務省郵政研究所

I 研究成果

5

1	調査研究報告書	6
2	郵政研究所月報	8
3	ディスカッションペーパー	21
4	郵政研究所研究叢書	22
5	その他	23
①	その他刊行物	23
②	技術試験	23

II 研究発表

25

1	第14回研究発表会	26
①	第1部	26
②	第2部	27
2	学会発表	30
3	新聞・雑誌等への掲載	31
4	P-sat放送	38
5	講演会等の開催	39
6	講義・講演活動	41
①	大学・研修所等での講義	41
②	講演等	43
7	報道発表	45

### Ⅲ 研究交流

47

- |   |             |    |
|---|-------------|----|
| 1 | 海外研究機関等との交流 | 48 |
| 2 | 特別研究官       | 49 |
| 3 | 客員研究官       | 50 |
| 4 | その他各種研究会参加者 | 53 |

### Ⅳ 附属資料館の概要

59

### Ⅴ 郵政研究所の組織

67

- 1 本年報は、平成14年の研究成果、研究発表、研究交流等を中心に取りまとめたものです。  
収録範囲は、平成14年1月から12月までです。
- 2 研究官の所属や発表場所名等は、原則として発表当時のものです。

# 研究成果

# I

1	調査研究報告書	6
2	郵政研究所月報	8
3	ディスカッションペーパー	21
4	郵政研究所研究叢書	22
5	その他	23
①	その他刊行物	23
②	技術試験	23

## 調査研究報告書

発行年月	番号	タイトル	執筆者
<b>第一 経営経済研究部</b>			
2002年 8月	調-02-I-01	公益事業のブランド戦略に関する調査研究報告書	中川 豪 (研究官)
2002年 9月	調-02-I-02	私人における郵便の利用構造に関する調査研究報告書	外菌 博文 (研究官)
<b>第二 経営経済研究部</b>			
2002年 7月	調-02-II-01	政府系金融機関による新しい資金提供サービスに関する調査研究報告書	第二経営経済研究部
2002年 8月	統-02-II-01	第7回 金融機関利用に関する意識調査 (平成13年度)	第二経営経済研究部
<b>第三 経営経済研究部</b>			
2002年 7月	調-02-III-01	国債市場の動向に関する調査研究報告書	米澤 康博 (横浜国立大学経営学部教授) 山浦 家久 (主任研究官) 岡田 晴之 (前研究官)
2002年 9月	調-02-III-02	企業の経営指標に関する調査研究報告書	須澤 淳 (主任研究官)
2002年11月	調-02-III-03	日本経済中期見通しに関する調査研究報告書	寺谷 淳 (主任研究官) 藤重 雅哉 (研究官) 矢島 徹 (研究官) 佐藤 孝則 (研究官)

発行年月	番号	タイトル	執筆者
<b>通 信 経 済 研 究 部</b>			
2002年 7月	調-02-IV-02	公衆利用型情報端末の活用の在り方に関する調査 研究報告書	平野 純夫 (研究官)
2002年 7月	調-02-IV-03	メディア・ソフトの制作および流通実態に関する 調査研究報告書	土谷 純二 (研究官)
2002年 7月	調-02-IV-04	通信回線などの市場形成と金融手法の活用に関す る調査研究報告書	加藤 力也 (研究官)
2002年 8月	調-02-IV-05	企業情報システムに関する調査研究報告書	北村 雅彦 (主任研究官)
2002年11月	調-02-IV-06	流通過程における取引関係と情報システム化に関 する調査研究報告書	北村 雅彦 (主任研究官)

# 郵政研究所月報

項目	タイトル	執筆者
<b>No. 160 (2002. 1)</b>		
表紙	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内鞠子【名物茶屋】	附属資料館
ていぱく所蔵資料紹介	絵入り年賀葉書原画 山口華揚「鳴鶴」	附属資料館
巻頭言	個人が主役の市場と金融機関	首藤 惠（中央大学経済学部教授）
特集	日本経済中期見通し－詳細版－	佐々木文之（第三経営経済研究部主任研究官） 荒田 健次（第三経営経済研究部研究官） 佐藤 孝則（第三経営経済研究部研究官）
調査研究論文	「電子政府を支える情報通信基盤技術」（第1回）行政のスリム化・効率化と電子政府	谷口 洋志（中央大学経済学部教授）
視点	社会システムとコスト負担	中島 隆信（慶應義塾大学商学部教授）
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
トピックス	中小企業に対する米国の研究開発政策	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）
郵政研究所通信		

## No. 161 (2002. 2)

表紙	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内岡部【宇津之山】	附属資料館
----	--	-------

項目	タイトル	執筆者
ていば一く所蔵資料紹介	創業期の保険証書	附属資料館
巻頭言	企業の効率と経済的・社会的効率	藤井彌太郎（帝京大学経済学部教授）
特集	地域経済見通し	佐々木文之（第三経営経済研究部主任研究官） 荒田 健次（第三経営経済研究部研究官） 岡田 晴之（第三経営経済研究部研究官） 佐藤 孝則（第三経営経済研究部研究官）
調査研究論文	地域区分局の郵便内務作業におけるレイアウトの近接性について	細川東洋一（通信経済研究部（技術開発研究担当）主任研究官）
特別寄稿	「ニュージーランドの構造改革—種々の論点とその結果」郵政研究所公開セミナー抄録	ジェーン・ケルシー（オークランド大学法学部教授） 研究交流課
視点	社会システムを変える力	中島 隆信（慶應義塾大学商学部教授）
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
トピックス	郵便のユニバーサルサービス・コスト：考え方と諸外国の計測	丸山 昭治（第一経営経済研究部主任研究官）
	第17回コミュニケーション・フォーラムの開催について	山口智音夫（財団法人情報通信学会事務局長）
	米国の地域経済発展…1990年代の史上最長の好景気の原動力	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」（第2回）ネットワークとハブシステム（前編）	村上 仁己（KDDI株式会社執行役員技術開発副本部長）
郵政研究所通信		
No. 162 (2002. 3)		
表紙	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内藤枝【人馬継立】	附属資料館



項目	タイトル	執筆者
ていぱーく所蔵資料紹介	正院本省郵便決議簿	附属資料館
巻頭言	女性の選択	松浦 克己 (横浜市立大学商学部教授)
調査研究論文	個人の宅配便発送方法と宅配業者選択理由	延原 泰生 (第一経営経済研究部研究官)
特別寄稿	アクセス料金：OECDの理論と政策 (上)	山本 哲三 (早稲田大学商学部教授)
視点	長期資金が経済成長に果たす役割	福田 慎一 (東京大学大学院経済学研究科教授)
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
トピックス	インターネット・バンキングについて—アンケート調査に見る利用動向と課題	一木 美穂 (第二経営経済研究部主任研究官)
	生命保険と損害保険の融合化と今後の課題	町田 七重 (第二経営経済研究部研究官)
	郵便要素技術研究	内田 英夫 (元通信経済研究部 (技術開発研究担当))
	都市中心市街地・農村過疎地域の再生の取組み…米国90年代の政策展開	大寺 廣幸 (沖縄総合通信事務所長)
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」(第3回) ネットワークとハブシステム (後編)	村上 仁己 (KDDI株式会社執行役員技術開発副本部長)
郵政研究所通信		
郵政研究所月報	平成13年度総目次 (No. 151 (平成13年4月号) ~No. 162 (平成14年3月号))	
<b>No. 163 (2002. 4)</b>		
表紙裏	初代広重「東海道五十三次 (保永堂版)」より 東海道五拾三次之内嶋田【大井川駿岸】 ていぱーく所蔵資料紹介 初代逋信大臣 榎本武揚 (写真)	附属資料館  附属資料館

項目	タイトル	執筆者
巻頭言	計量経済学的実証分析の発展	溝口 敏行 (郵政研究所長)
調査研究論文	日本人の遺産動機の重要度・性質・影響について	チャールズ・ユウジ・ホリオカ (前特別研究官 (大阪大学社会経済研究所教授)) 山下 耕治 (第二経営経済研究部研究官) 西川 雅史 (前第二経営経済研究部研究官) 岩本 志保 (元第二経営経済研究部)
	「忽れきてる」考証	若井 登 (財団法人電気通信振興会技術顧問・客員研究官) 井上 恵子 (附属資料館資料官)
特別寄稿	アクセス料金：OECDの理論と政策 (下)	山本 哲三 (早稲田大学商学部教授)
視点	日本における貸し渋り	福田 慎一 (東京大学大学院経済学研究科教授)
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	216 / 393	濱 俊之 (郵政事業庁総括専門官)
トピックス	米国のDMM56 (国内郵便マニュアル) について	松田 桃子 (第一経営経済研究部)
	家計貯蓄の現状	山本 一吉 (第二経営経済研究部主任研究官)
	加入電話間通話の通話需要分析	中村 彰宏 (通信経済研究部研究官)
	米国同時多発テロと情報通信	大寺 廣幸 (沖縄総合通信事務所長)
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」(第4回) 情報ネットワーク・システムの分散化	吉田 眞 (東京大学大学院工学系研究科教授 ・NTT-AT(株)エキスティブアドバイザー) 小林 勉 (NTT-AT(株)グローバルインテグレーション推進室長)
郵政研究所通信		

項目	タイトル	執筆者
No. 164 (2002. 5)		
表紙裏	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内金谷【大井川遠岸】 ていぱーく所蔵資料紹介 ブレゲ指字電信機	附属資料館  附属資料館
巻頭言	金融システムの経路依存症	村本 孜（成城大学教授）
調査研究論文	IT化のマクロ的インパクトの論点整理と実証	佐々木文之（第三経営経済研究部主任研究官）
視点	ソルベンシー・マージン比率と生保貸出	福田 慎一（東京大学大学院経済学研究科教授）
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	たった3つ	白江 久純（研究交流課長）
トピックス	最近の中小企業向けの貸出を巡る諸相  USPSにおける大口差出郵便物の取扱い手法	神谷 宏（第二経営経済研究部研究官）  坂東 秀紀（通信経済研究部（技術開発研究担 当）主任研究官） 久保田昌利（通信経済研究部（技術開発研究担 当）研究官）
	苦悩する巨人 AT&T…会長兼 CEO C. Michael Armstrong の経営の歩み	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」（第5 回）電子政府を支えるミドルウェア	阪田 史郎（日本電気(株)インターネットシステ ム研究所所長）
郵政研究所通信		
裏表紙	ていぱーく展示場紹介 新常設展示場オープン！ 学芸員雑記帳 「通信の意味」	附属資料館  附属資料館

項目	タイトル	執筆者
No. 165 (2002. 6)		
表紙裏	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内日坂【佐夜ノ中山】 ていぱーく所蔵資料紹介 郵便博物館陳列品原簿	附属資料館  附属資料館
巻頭言	情報革命と生産性	井堀 利宏（東京大学大学院経済学研究科教授）
調査研究論文	米国地域電気通信産業における規制と効率性の分析	宍倉 学（通信経済研究部研究官）
視点	財政危機の構造について	後藤 達也（和光大学専任講師（郵政研究所客員研究官））
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	Let' s Have a Nice Cuppa!	大江 宏子（郵政事業庁総括専門官）
トピックス	米国世帯の郵便利用動向－The Household Diary Study Mail Use & Attitudes in PFY 2000 より－	延原 泰生（第一経営経済研究部研究官）
	米国シリコンバレーの発展	芦原 一弥（第二経営経済研究部研究官）
	都道府県別にみた民間生命保険契約と簡易生命保険契約の特性	小原 宏（第三経営経済研究部研究官）
	米国の労働力開発・人材育成の取組み	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」（第6回）電子政府と無線通信	中野 博隆（㈱NTT ドコモマルチメディア研究所所長）
郵政研究所通信		
裏表紙	ていぱーく展示場紹介 「通信博物館の100年」展－重要文化財3点公開！－ 学芸員雑記帳 100歳を迎える「特殊通信日付印」	附属資料館  附属資料館

項目	タイトル	執筆者
No. 166 (2002. 7)		
表紙裏	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内掛川【紅葉山遠望】 ていぱーく所蔵資料紹介 小判切手の原版	附属資料館  附属資料館
巻頭言	郵便局の逆襲－民営化についての私の夢想	角 紀代恵（立教大学法学部教授）
調査研究論文	郵便局における運搬作業の負担軽減に関する 研究	松澤 勇一（通信経済研究部（技術開発研究担 当）主任研究官）
視点	公共投資の経済効果について	後藤 達也（和光大学専任講師（郵政研究所 客員研究官））
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	グローバリゼーション、インターネット、「文 化」	金子 優子（第二経営経済研究部長）
トピックス	高齢者にやさしくない金融機関	倉澤 慶子（第二経営経済研究部研究官）
	企業におけるインターネット活用と企業間関 係に関する調査研究	鎌田 真弓（通信経済研究部研究官）
	物流連続講演会「日本の物流コストとサプラ イチェーンマネジメント」	鈴木 準（㈱サン物流開発代表取締役）
	観光と電子商取引	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」（第7 回）電子政府とデータベースの役割	菰田 文男（埼玉大学経済学部教授） 菅原 研次（千葉工業大学工学部教授）
郵政研究所通信		
裏表紙	ていぱーく展示場紹介 「通信博物館の100年」展－100周年記念展示！－	附属資料館

項目	タイトル	執筆者
	学芸員雑記帳 博物館創設の功労者「樋畑雪湖」	附属資料館

No. 167 (2002. 8)

表紙裏	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内袋井【出茶屋ノ図】 ていぱーく所蔵資料紹介 コンクリート製のポスト	附属資料館  附属資料館
巻頭言	顧客満足度の基本と課題	嶋口 充輝（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）
特集	日本経済再生の方策－第 14 回郵政研究所研究 発表会第一部特別講演－	植草 一秀（野村総合研究所主席エコノミスト）
調査研究論文	郵便事業における生産性と効率性の計測－国 際比較の観点から－	丸山 昭治（第一経営経済研究部主任研究官）
視点	国から地方への財政移転について	後藤 達也（和光大学専任講師（郵政研究所客員研究官））
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	煙草の値上げ	田町 典子（前第三経営経済研究部長）
トピックス	コンビニエンスストアの料金収納代行サービス	井浦 雅一（第二経営経済研究部研究官）
	消費の地域特性に関する分析	佐藤 孝則（第三経営経済研究部研究官）
	物流連続講演会「花王における SCM への取り組み」	松本 忠雄（花王システム物流㈱代表取締役社長）
	米国の高速道路とハイウェイ信託資金（特別会計）	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）

郵政研究所通信

項目	タイトル	執筆者
裏表紙	ていぱーく展示場紹介 「通信博物館の100年」展—博物館の「お宝」—	附属資料館
	学芸員雑記帳	附属資料館
	100年目を迎える通信省発行「記念絵葉書」	

No. 168 (2002. 9)

表紙裏	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内見附【天竜川図】	附属資料館
	ていぱーく所蔵資料紹介 徳川斉昭のダニエル電池と薬品	附属資料館
巻頭言	“Rip, Mix, Burn”時代の文化問題	小林 宏一（東京大学社会情報研究所教授）
調査研究論文	インターネットバンキングを使っている人たち、 使いたいと思っている人たち—「第7回 金融 機関利用に関する意識調査」より—	倉澤 慶子（第二経営経済研究部研究官）
	インターネットコンテンツ統計に関する調査 研究	中島 睦晴（通信経済研究部主任研究官） 島田 博也（通信経済研究部研究官）
視点	これからもデザインの時代	杉山 和雄（千葉大学大学院自然科学研究科 教授）
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	高田さんの思い出	宮崎順一郎（通信経済研究部長）
トピックス	我が国企業におけるブランド戦略への取り組み —全日空、日本エアシステム、JTの事例—	中川 豪（第一経営経済研究部研究官）
	物流連続講演会「日立物流における3PL事業 の展開」	関山 哲司（㈱日立物流システム開発営業本部 次長）
	米国の電力事業改革とカリフォルニア州の電 力危機	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」（第8 回）ユビキタスカード	村松 晃（㈱日立製作所MMCソリュー ションセンター長）

項目	タイトル	執筆者
郵政研究所通信		
裏表紙	ていぱーく展示場紹介 博物館の「ふれみあむ」コーナー —「逓信博物館の100年」展より—	附属資料館
	学芸員雑記帳 「小型記念通信日付印」	附属資料館
No. 169 (2002. 10)		
表紙裏	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内浜松【冬枯ノ図】	附属資料館
	ていぱーく所蔵資料紹介 北条家伝馬文書	附属資料館
巻頭言	組織の競争力について思う	片山 博（早稲田大学理工学部経営システム工学科教授）
調査研究論文	通信回線などの市場形成と金融手法の活用に関する調査研究	加藤 力也（前通信経済研究部研究官）
視点	郵便窓口のひとつとしてのホームページ	杉山 和雄（千葉大学大学院自然科学研究科教授）
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	「余力」と「遊び」	安永 三郎（郵政事業庁総括専門官）
トピックス	欧米における郵便市場を巡る最新動向—「第10回郵便と配達のエconomicsに関する会議（ドイツ、ポツダム）」から—	丸山 昭治（第一経営経済研究部主任研究官）
	アンケート調査から分かる郵便局の姿について	河合 亮宗（第二経営経済研究部）
	携帯電話のリサイクル促進に対する行政の役割について	住尾健太郎（通信経済研究部主任研究官）



項目	タイトル	執筆者
	物流連続講演会「物流におけるバーコード・自動認識技術の活用」	深田 陸雄（勸流通システム開発センター研究開発部長）
	WorldCom の経営破綻と情報通信市場競争のセキュリティ・ネット	大寺 廣幸（沖縄総合通信事務所長）
シリーズ	「電子政府を支える情報通信基盤技術」（第9回）IDCのアーキテクチャと電子政府	浅見 徹（㈱KDDI 研究所所長）
郵政研究所通信		
裏表紙	ていぱーく展示場紹介 〈近代以前の通信〉コーナー ーさまざまな情報伝達手段ー 学芸員雑記帳 「明治初期の通信日付印」	附属資料館    附属資料館
No. 170 (2002.11)		
表紙裏	初代広重「東海道五十三次（保永堂版）」より 東海道五拾三次之内舞阪【今切真景】 ていぱーく所蔵資料紹介 林式郵便葉書自動押印機	附属資料館   附属資料館
巻頭言	移動無線屋の夢	川田 隆資（松下電器産業株式会社代表取締役副社長）
特集	ドイツにおける電気通信及び郵便の最近の動向について ー郵政研究所講演会ー	カール・ハインツ・ノイマン（ドイツ通信科学研究所所長）
調査研究論文	日本国債の流動性と市場制度の動向	山浦 家久（第三経営経済研究部主任研究官）
視点	発注方式とデザイン	杉山 和雄（千葉大学大学院自然科学研究科教授）
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	成仏できない！？	龍野 栄作（第一経営経済研究部長）

項目	タイトル	執筆者
トピックス	地方債の運用環境の変化	内炭 克之 (第三経営経済研究部研究官)
	物流連続講演会「食品メーカーとしてのサプライチェーン構築への取り組み」	川島 孝夫 (味の素ゼネラルフーズ(株)常勤監査役)
	ブロードバンド(広帯域)網と高度情報通信サービス展開の米国の現在	大寺 廣幸 (沖縄総合通信事務所長)
郵政研究所通信		
裏表紙	ていぱーく展示場紹介 〈近代以前の通信〉コーナー —郵便制度の誕生と発達— 学芸員雑記帳 「小包郵便の開始」	附属資料館    附属資料館
	No. 171 (2002. 12)	
表紙裏	初代広重「東海道五十三次(保永堂版)」より 東海道五拾三次之内荒井【渡舟ノ図】	附属資料館  附属資料館
	ていぱーく所蔵資料紹介 簡易保険局製作の扇子	附属資料館
巻頭言	異状死体	吉田 謙一 (東京大学大学院医学系研究科法医学講座教授)
特集	日本経済中期見通し(2002年度-2006年度)	寺谷 淳 (第三経営経済研究部主任研究官) 藤重 雅哉 (第三経営経済研究部研究官) 矢島 徹 (第三経営経済研究部研究官) 佐藤 孝則 (第三経営経済研究部研究官)
視点	船頭多くして船山に上る	鳥居 昭夫 (横浜国立大学大学院国際社会科学部研究科教授)
マクロ経済指標・トピックス		第三経営経済研究部
小径	香港案内	浅見加奈子 (研究交流課長)

項目	タイトル	執筆者
トピックス	「拓銀の破綻」と「北海道の金融機関利用に関する意識」の変化	長瀬 隆久（第二経営経済研究部研究官）
	物流連続講演会「物流におけるヒューマンファクター」	武田 正治（武蔵工業大学大学院工学研究科教授）
郵政研究所通信		
裏表紙	ていぱーく 展示場紹介 〈近代以前の通信〉コーナー ー近代郵便制度の誕生ー	附属資料館
	学芸員雑記帳 「お年玉付郵便葉書の誕生」	附属資料館



# 3

## ディスカッションペーパー

発行年月	番号	タイトル	執筆者
2002年 2月	No. 2002-01	The Productivity Analysis of Postal Services - Global Comparison of the Technical Efficiency and the Total Factor Productivity-	丸山 昭治 (第一経営経済研究部主任研究官) 中島 隆信 (客員研究官)
2002年 4月	No. 2002-02	黄昏の幸せ－高齢者の幸せ感を支えるもの	松浦 克己 (特別研究官)
2002年10月	No. 2002-03	Efficiency Measurement and Productivity Analysis For Japanese Postal Service	丸山 昭治 (第一経営経済研究部主任研究官) 中島 隆信 (客員研究官)
2002年12月	No. 2002-04	企業金融・コーポレート・ガバナンスの変遷と企業業績－地価依存と持ち合いの影響	松浦 克己 (特別研究官)

## 郵政研究所研究叢書

発行月日	タイトル	編著者	発行
1月15日	金融の新しい流れ 市場化と国際化 (郵政研究所研究叢書第27号)	松浦 克己 (特別研究官) 米澤 康博 (客員研究官)	日本評論社
2月30日	金融変革の実証分析 (郵政研究所研究叢書第28号)	林 敏彦 (大阪大学大学院 国際公共政策研究科教授) 松浦 克己 (特別研究官)	日本評論社

## 5

## その他

## ① その他 刊 行 物

- 1 ITPP トピックス（随時発行）（第三経営経済研究部）  
時々の金融経済問題を分析・解説
- 2 ITPP Economic Monthly（毎月発行）（第三経営経済研究部）  
内外の金融・経済動向を分析・解説
  - ①マクロ経済指標（日本経済・金融市場、米国経済・金融市場）
  - ②マクロ経済トピックス（月例経済報告、日銀短観、家計調査等）

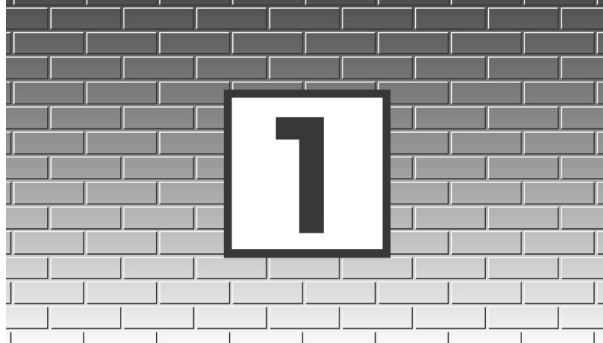
## ② 技 術 試 験

実施年月	テーマ	実施者
随時	葉書用紙等に関する物理・化学試験	北島 光泰（通信経済研究部（技術開発研究担当）研究官）

# 研究発表

## II

1	第14回研究発表会	26
①	第1部	26
②	第2部	27
2	学会発表	30
3	新聞・雑誌等への掲載	31
4	P-sat放送	38
5	講演会等の開催	39
6	講義・講演活動	41
①	大学・研修所等での講義	41
②	講演等	43
7	報道発表	45



## 第 14 回研究発表会

### II

郵政研究所の研究成果を広く部内外へ公表するため、毎年 1 回研究発表会を開催している。

今年の研究発表会では、第 1 部において、特別講演に続き郵政研究所の各部長等による研究成果の発表が行われた。また、附属資料館による展示も行われた。

第 2 部では、郵便・物流、技術開発、金融・経済、情報通信、郵政文化の各セッションに分かれて、各部長等の研究官からの発表が行われた。

### ① 第 1 部

日 時：平成 14 年 6 月 6 日(木)

場 所：総務省（中央合同庁舎第 2 号館）講堂（地下 2 階）

テーマ

発表者

#### 特 別 講 演 （ 講 堂 ）

日本経済再生の方策

植草 一秀（野村総合研究所主席エコノミスト）

#### 研 究 発 表 （ 講 堂 ）

社会経済の情報化と郵便事業

龍野 栄作（第一経営経済研究部長）

郵便局舎のライフサイクルコスト

安永 三郎（通信経済研究部（技術開発研究担当）  
総括専門官）

世帯の金融機関利用行動

金子 優子（第二経営経済研究部長）

ーインターネットバンキング、コンビニATMを中心としてー



テーマ	発表者
財政投融资改革と郵政事業－資金運用 サイドの対応と金融市場－	田町 典子（第三経営経済研究部長）
情報通信産業における企業間取引市場	宮崎順一郎（通信経済研究部長）

ていぱーくエキシビション（第1・2会議室（地下2階））

「近代郵便のあけぼの」展

## ② 第2部

日 時：平成14年6月7日（金）

場 所：郵政事業庁飯倉分館（3・5階）

テーマ	発表者	討論者
郵便・物流セッション（A会議室（5階））		
個人における郵便利用構造について	外菌 博文（第一経営経済研究部研究官）	—
ダイレクトマーケティングの動向に関する調査研究	北清 広樹（第一経営経済研究部研究官）	—
公益事業のブランド戦略に関する調査研究	中川 豪（第一経営経済研究部研究官）	—

金融・経済セッション（郵政研究所第1・2会議室（3階））

不良債権問題－原因と解決策－	松浦 克己（特別研究官）	—
日本人の遺産動機の重要度・性質・影響について	チャールズ・ユウジ・ホリオカ （元特別研究官）	村田 啓子（日本銀行金融研究所 シニア・エコノミスト）

テーマ	発表者	討論者
アンケート調査に見る金融機関の利用動向 ー調査の実施・分析における課題を 踏まえてー	一木 美穂 (第二経営経済研究部主任研究官) 倉澤 慶子 (第二経営経済研究部研究官)	寺崎 康博 (東京理科大学経営学部 教授)
政府系金融機関による資金提供サービ スの現状と展望	山本 一吉 (第二経営経済研究部主任研究官) 神谷 宏 (第二経営経済研究部研究官)	ー
都道府県別契約数でみた簡易保険の特 性	小原 宏 (第三経営経済研究部研究官)	伊藤 薫 (岐阜聖徳学園大学経済 情報学部助教授)
企業の経営指標に関する調査研究	須澤 淳 (第三経営経済研究部主任研究官)	ー
国債市場の動向に関する調査研究	山浦 家久 (第三経営経済研究部主任研究官)	ー
家計の消費パターンと地域特性に関す る研究	佐藤 孝則 (第三経営経済研究部研究官)	ー
<b>情報通信セッション (B・C会議室 (5階))</b>		
デジタルコンテンツの価格とコピープ ロテクター利用者側の意識	中村 彰宏 (通信経済研究部研究官)	ー
多チャンネル時代の放送市場に関する 調査研究	春日 教測 (通信経済研究部主任研究官)	中村 清 (早稲田大学商学部教授)
メディア・ソフトの制作および流通実 態に関する調査研究	土谷 純二 (通信経済研究部研究官)	ー
郵便局における顧客向け情報通信シス テムについて	平野 純夫 (通信経済研究部研究官)	ー

テーマ	発表者	討論者
ユニバーサルサービスファンド導入のシュミレーションー情報通信制度改革の応用一般均衡分析ー	宍倉 学 (通信経済研究部研究官) 中村 彰宏 (通信経済研究部研究官)	—
通信回線などの市場形成と金融手法の活用に関する調査研究	加藤 力也 (通信経済研究部研究官)	—
インターネットコンテンツ統計に関する調査研究	島田 博也 (通信経済研究部研究官)	—
流通過程における取引関係と情報システム化について	北村 雅彦 (通信経済研究部主任研究官)	松原 寿一 (中央学院大学商学部専任講師)

### 技術開発セッション (A会議室 (5階))

郵便の要素技術に関する調査研究	坂東 秀紀 (通信経済研究部 (技術開発研究担当) 主任研究官)	—
インクジェット用光沢郵便葉書の紙質に関する調査研究ー光沢紙の性能設計を目指してー	細川東洋一 (通信経済研究部 (技術開発研究担当) 主任研究官) 北島 光泰 (通信経済研究部 (技術開発研究担当) 研究官)	—
郵便物の仕様に関する調査研究	村上 正人 (通信経済研究部 (技術開発研究担当) 研究官)	—

### 郵政文化セッション (A会議室 (5階))

平賀源内の「エレキテル」と機能模型による静電気実験	井上 恵子 (附属資料館資料官)	若井 登 (元電波研究所長・元東海大学教授)
近代郵便のあけぼのー博物館資料に見る新式郵便事始めー	井上 卓朗 (附属資料館資料官)	—



# 2

## 学会発表

### II

発表月日	学会名等	テーマ	発表者
<b>第一 経営経済研究部</b>			
7月20日	効率性と生産性 に関するアジア 会議 (台湾)	郵便局レベルでみた郵便事業の効率性 計測と生産性分析	丸山 昭治 (主任研究官)
<b>第二 経営経済研究部</b>			
5月18日	日本金融学会	今後の家計貯蓄動向について	山本 一吉 (主任研究官)
<b>通信経済研究部</b>			
6月16日	公益事業学会	電気通信産業における規制改革の応用 一般均衡分析	中村 彰宏 (研究官) 宍倉 学 (研究官)

# 3

## 新聞・雑誌等への掲載

テーマ	掲載雑誌名等	執筆者
<b>第一 経営経済研究部</b>		
最近の英国郵便事業の動向について	通信文化新報（5月2日）	北清 広樹（研究官）
<b>第二 経営経済研究部</b>		
金融再編下の郵便貯金事業に対する意識	通信文化新報（5月27日）	倉澤 慶子（研究官）
民間金融機関のコンプライアンス体制	通信文化新報（9月16日）	遠藤 雅範（研究官）
<b>第三 経営経済研究部</b>		
連結納税制度	かんぽ資金（1月号）	須澤 淳（主任研究官）
9月の地域経済総合指標の動き	かんぽ資金（1月号）	荒田 健次（研究官）
郵政事業資金における地方債運用の現状と課題	通信文化新報（1月31日）	内炭 克之（研究官）
社債のデフォルト	かんぽ資金（2月号）	山浦 家久（主任研究官）
10月の地域経済総合指標の動き	かんぽ資金（2月号）	岡田 晴之（研究官）
季節調整	かんぽ資金（3月号）	小原 宏（研究官）

テーマ	掲載雑誌名等	執筆者
11月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（3月号）	岡田 晴之（研究官）
日本経済・地域見通し	かんぼ資金（3月号）	佐々木文之（主任研究官）
ワークシェアリング	かんぼ資金（4月号）	岡田 晴之（研究官）
12月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（4月号）	岡田 晴之（研究官）
デットエクイティスワップ（債務の株式化）	かんぼ資金（5月号）	佐藤 孝則（研究官）
1月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（5月号）	岡田 晴之（研究官）
オルタナティブ（代替）投資	かんぼ資金（6月号）	内炭 克之（研究官）
2月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（6月号）	岡田 晴之（研究官）
プライマリーバランス (Primary Balance)	かんぼ資金（7月号）	荒田 健次（研究官）
3月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（7月号）	藤重 雅哉（研究官）
景気の山谷	かんぼ資金（8月号）	佐々木文之（主任研究官）
4月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（8月号）	藤重 雅哉（研究官）
株主重視	かんぼ資金（9月号）	須澤 淳（主任研究官）
5月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（9月号）	藤重 雅哉（研究官）
国債の市場流動性	かんぼ資金（10月号）	山浦 家久（主任研究官）
6月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金（10月号）	藤重 雅哉（研究官）
日本国債の流動性と市場制度改革の動向	通信文化新報（10月31日）	山浦 家久（主任研究官）

テーマ	掲載雑誌名等	執筆者
I R (投資家向け広報)	かんぼ資金 (11月号)	小原 宏 (研究官)
7月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金 (11月号)	藤重 雅哉 (研究官)
地域別経済指標について	保険展望 (11月号)	寺谷 淳 (主任研究官)
鉱工業生産指数	かんぼ資金 (12月号)	藤重 雅哉 (研究官)
8月の地域経済総合指標の動き	かんぼ資金 (12月号)	藤重 雅哉 (研究官)
日本経済中期見通しについて	保険展望 (12月号)	寺谷 淳 (主任研究官)
<b>通 信 経 済 研 究 部</b>		
多チャンネル時代の視聴者行動	情報通信ジャーナル (1月号)	土谷 純二 (研究官)
第17回コミュニケーション・フォーラムの開催概要	情報通信ジャーナル (2月号)	能見 正 (主任研究官)
電子商取引の拠点としての郵便局	通信文化新報 (2月28日)	平野 純夫 (研究官)
多チャンネル時代の視聴者行動② (時系列比較)	情報通信ジャーナル (3月号)	春日 教測 (主任研究官)
効率化インセンティブと整合的な政策補助スキームの検討	公共事業研究 55 巻 3 号	中村 彰宏 (研究官) 実積 寿也 (客員研究官)
交通と通話の代替・補完	交通学研究年報/2001 年度版	中村 彰宏 (研究官)
昨今のインターネット普及動向	情報通信ジャーナル (4月号)	吉田 誠 (研究官)
主観的借入制約確率と危険資産の選択	金融経済研究第 18 号	春日 教測 (主任研究官)
コモディティ化の流れとデリバティブ	情報通信ジャーナル (5月号)	加藤 力也 (研究官)

テーマ	掲載雑誌名等	執筆者
地域住民とインターネット	情報通信ジャーナル（6月号）	加藤 直明（研究官）
企業におけるインターネットの活用と企業関係	通信文化新報（6月27日）	鎌田 真弓（研究官）
インターネットコンテンツ量の推移	情報通信白書（平成14年版）	島田 博也（研究官）
メディア・ソフトの市場規模	情報通信白書（平成14年版）	土谷 純二（研究官）
インターネットJPDメインのコンテンツ統計について	情報通信ジャーナル（7月号）	島田 博也（研究官）
通信回線などの商品化・市場化と金融取引化について	情報通信ジャーナル（8月号）	加藤 力也（研究官）
メディア・ソフトの制作および流通実態に関する調査研究	情報通信ジャーナル（9月号）	土谷 純二（研究官）
企業情報システムの分類地図	情報通信ジャーナル（10月号）	北村 雅彦（主任研究官）
電気通信産業における規制改革の応用一般均衡分析～ユニバーサルサービスファンド導入のシミュレーション～	公益事業研究	宍倉 学（研究官） 中村 彰宏（元研究官）
公的機関におけるウェブサイトユーザビリティに関する調査研究（概要）	情報通信ジャーナル（11月号）	藤井 啓造（主任研究官）
郵便局における情報キオスク端末の活用について	通信文化新報（11月25日）	平野 純夫（研究官）
携帯電話のリサイクル促進を	日経ネット時評（11月7日）	住尾健太郎（主任研究官）
インターネット常時接続時代の情報セキュリティ	情報通信ジャーナル（12月号）	西村 雅人（研究官）



テーマ	掲載雑誌名等	執筆者
<b>通信経済研究部(技術開発研究担当)</b>		
意思決定支援システム	通信文化新報(3月28日)	坂東 秀紀(主任研究官)
インターネット技術と郵便技術	通信文化新報(8月26日)	坂東 秀紀(主任研究官)
複雑系と郵便	通信文化新報(12月26日)	坂東 秀紀(主任研究官)
<b>附属資料館</b>		
戦国・江戸初期の伝馬文書	郵政(1月号)	井上 卓朗(資料官)
馬が描かれている切手	逓信協会雑誌(1月号)	富永 紀子(学芸員)
郵便切手に描かれた日本人	郵政(2月号)	井上 卓朗(資料官)
文書館・史料館めぐり	日本歴史(2月号)	井上 卓朗(資料官)
航空郵便と航空郵便ポスト	郵政(3月号)	井上 卓朗(資料官)
東海道絵巻	逓信協会雑誌(3月号)	井上 卓朗(資料官)
通信の歴史がわかる図書室	図書館雑誌(3月号)	垂見 直美(学芸員)
江戸時代の電気研究	郵政(4月号)	井上 卓朗(資料官)
郵便振替	郵政(5月号)	井上 卓朗(資料官)
「郵便・電信・IT」	目で見えるマスコミとくらしの百科 (第1巻)	井上 卓朗(資料官) 井上 恵子(資料官)
創立100周年を迎えた通信総合博物館	郵政(6月号)	井上 卓朗(資料官)

テーマ	掲載雑誌名等	執筆者
逡信博物館の100年	NHKラジオ第1放送 朝一番（6月14日）	井上 卓朗（資料官）
逡信博物館の100年	NHKラジオ第1放送 昼の散歩道 （6月17日から22日）	高見 俊幸（企画係長）
重要文化財「ブレゲ指字電信機」公開と実験	電波タイムス（6月19日）	井上 恵子（資料官）
重要文化財「ブレゲ指字電信機」公開と実験	神奈川新聞（6月15日）	井上 恵子（資料官）
重要文化財「ブレゲ指字電信機」公開と実験	産経新聞（6月17日）	井上 恵子（資料官）
重要文化財「ブレゲ指字電信機」公開と実験	日本経済新聞（6月15日）	井上 恵子（資料官）
重要文化財「ブレゲ指字電信機」公開と実験	MXテレビ（6月15日）	井上 恵子（資料官）
重要文化財に指定されたブレゲ指字電信機	郵政（7月号）	井上 卓朗（資料官）
切手の魅力について	図書館通信（7月号）	富永 紀子（学芸員）
中日春秋（創業期の郵便制度）	中日新聞（7月9日）	井上 卓朗（資料官）
よみうり寸評（100周年記念展の紹介）	読売新聞（7月6日）	井上 卓朗（資料官）
原爆の悲惨さをいち早く伝えたはがき	郵政（8月号）	井上 卓朗（資料官）
甦った重要文化財の実演	博物館研究（8月号）	井上 恵子（資料官）
逡信博物館の100年	逡信協会雑誌（9月号）	井上 卓朗（資料官）
逡信省塔上から写した「東京市全景写真」	郵政（9月号）	井上 卓朗（資料官）
国交正常化30周年記念日本切手展	日刊工業新聞（9月13日）	富永 紀子（学芸員）

テーマ	掲載雑誌名等	執筆者
復活相次ぐ丸型ポスト	朝日新聞（愛媛版 9月29日）	小泉 文美（学芸員）
最初の官製記念絵はがきと特殊通信日付印	郵政（10月号）	井上 卓朗（資料官）
逓信博物館のお宝	逓信協会雑誌（10月号）	井上 卓朗（資料官）
丸い郵便ポストの物語	朝日放送（10月22日）	井上 卓朗（資料官）
未年の年賀状	郵政（11月号）	井上 卓朗（資料官）
記念絵はがきの100歳	逓信協会雑誌（11月号）	富永 紀子（学芸員）
未年の年賀切手になった郷土玩具	郵政（12月号）	井上 卓朗（資料官）



# 4

## P-sat 放送

### II

初回放映日	テーマ	担当・発表者
1月4日	月例経済・金融概観の解説	荒田 健次（第三経営経済研究部研究官）
1月16日	日本経済・地域見通し	佐々木文之（第三経営経済研究部主任研究官）
2月18日	商品配送に郵便を利用する物販ネット事業者 はどんな事業者？	北村 雅彦（通信経済研究部主任研究官）
3月18日	事業体と環境施策	久保田昌利（通信経済研究部（技術開発研究担当）研究官）
4月2日	月例経済・金融概観の解説	佐々木文之（第三経営経済研究部主任研究官）
4月15日	個人における郵便の利用実態について	外菌 博文（第一経営経済研究部研究官）
5月27日	第7回 金融機関利用に関する意識調査 —平成13年度—	倉澤 慶子（第二経営経済研究部研究官）
6月24日	インターネットコンテンツ統計調査 日本の現状とその調査手法	島田 博也（通信経済研究部研究官）
7月3日	月例経済・金融概観の解説	藤重 雅哉（第三経営経済研究部研究官）

# 5

## 講演会等の開催

開催月日	テーマ	発表者
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>通信経済研究部（技術開発研究担当）</b> </div>		
3月29日	郵便ホームページの在り方についての考察とデモ版作成ー利用者本位型ホームページの開発に向けてー	杉山 和雄（千葉大学大学院自然科学研究科教授）
4月24日	第1回物流研究連続講演会「日米欧のロジスティックストrend」	鈴木 準（㈱サン物流開発代表取締役社長）
5月8日	第2回物流研究連続講演会「花王におけるSCM（サプライチェーンマネジメント）への取り組み」	松本 忠雄（花王システム物流㈱代表取締役社長）
5月30日	第3回物流研究連続講演会「日立物流における3PL事業の展開」	関山 哲司（㈱日立物流システム開発営業本部次長）
6月18日	第4回物流研究連続講演会「物流におけるバーコード・自動認識の活用ー国際標準を踏まえてー」	深田 陸雄（財流通システム開発センター研究開発部長）
7月19日	第5回物流研究連続講演会「事例に見る世界最新・最先端物流システムー自動認識システムを中心にー」	鈴木 準（㈱サン物流開発代表取締役社長）
7月31日	第6回物流研究連続講演会「食品メーカーとしてのサプライチェーン構築への取組」	川島 孝夫（味の素ゼネラルフーズ㈱常勤監査役）

開催月日	テーマ	発表者
8月9日	「JRのネットワークを支える要素技術とその背景」	三戸 祐子 (ライター)
8月21日	第7回物流研究連続講演会 「物流におけるヒューマンファクター」	武田 正治 (武蔵工業大学大学院工学研究科教授)

### 附属資料館

6月15日	特別展「逓信博物館の100年」展における 記念講演会～博物館100年の資料から見た ～「前島密と郵便創業」	橋本 輝夫 (客員研究官)
6月15日	特別展「逓信博物館の100年」展における 記念講演会「重要文化財のブレゲ指字電信機 と電信創業」	若井 登 (客員研究官)

### 郵政研究所セミナー

1月16日	「個人消費の動向について」	井本 省吾 (日本経済新聞社編集局流通経済部編集委員)
2月22日	「満足価値創造の経営」	嶋口 充輝 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授)
3月26日	「ポスト・ユーロの欧州統合をどう見る」	浜 矩子 (㈱三菱総合研究所政策・経済研究センター経済調査部長、主席研究員)
4月16日	「IT投資は成長率を向上させるか？」	峰滝 和典 (㈱富士通総研経済研究所主任研究員)
5月29日	「日本経済の現状－底割れを防ぐ政策への転換を」	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)

# 6

## 講義・講演活動

### ① 大学・研修所等での講義

II

月日	大学・研修所名等	テーマ	講演者
<b>第一 経営経済研究部</b>			
4月22日	東海郵政研修所	郵便事業における生産性に関する調査研究	丸山 昭治 (主任研究官)
5月28日	中央郵政研修所	郵便事業におけるユニバーサルサービス	丸山 昭治 (主任研究官)
10月24日	東海郵政研修所	郵便の利用者ニーズに関する調査研究	延原 泰生 (研究官)
11月5日	中国郵政研修所	欧米における郵便事業動向	丸山 昭治 (主任研究官)
11月6日	九州郵政研修所	都道府県・郵便局レベルで見た郵便事業の 生産性・効率性に関する調査研究	丸山 昭治 (主任研究官)
11月18日	中央郵政研修所	郵便の利用者ニーズに関する調査研究	延原 泰生 (研究官)
<b>第二 経営経済研究部</b>			
5月16日	政策研究大学院大学	Institutional Structure and Processes in the Government	金子 優子 (部長)
5月23日	政策研究大学院大学	Institutional Structure and Processes in the Government	金子 優子 (部長)

月日	大学・研修所名等	テーマ	講演者
5月30日	政策研究大学院大学	Institutional Structure and Processes in the Government	金子 優子 (部長)
12月4日	中央郵政研修所	送金決済サービスの現状と利用者の意識	井浦 雅一 (研究官)

### 第三 経営経済研究部

4月22日	郵政大学校	マクロ経済予測 (総論)	佐々木文之 (主任研究官)
4月26日	郵政大学校	マクロ経済予測 (各論)	岡田 晴之 (研究官)
5月7日	郵政大学校	マクロ経済予測 (各論)	荒田 健次 (研究官)
5月7日	郵政大学校	マクロ経済予測 (各論)	佐藤 孝則 (研究官)
11月15日	近畿郵政研修所	家計の所得・消費パターンと地域特性に関する研究	佐藤 孝則 (研究官)

### 通信経済研究部

3月19日	郵政大学校	電子商取引の拠点としての郵便局	平野 純夫 (研究官)
-------	-------	-----------------	-------------

### 附属資料館

1月23日	郵政大学校	前島密・創業の精神	井上 卓朗 (資料官)
4月18日	中央郵政研修所	「郵政省の歴史」(前島密と郵便創業)	井上 卓朗 (資料官)
5月24日	中央郵政研修所	前島密・創業の精神	井上 卓朗 (資料官)



月日	大学・研修所名等	テーマ	講演者
6月25日	中央郵政研修所	前島密・創業の精神	井上 卓朗 (資料官)
11月1日	郵政大学校	前島密と郵便創業	井上 卓朗 (資料官)
11月26日	中央郵政研修所	前島密と郵便創業	井上 卓朗 (資料官)
12月13日	信越郵政局	前島密・創業の精神	井上 卓朗 (資料官)

## ② 講演等

月日	場所・講演会名等	テーマ	講演者
<b>第一 経営経済研究部</b>			
2月6日	四国郵政局	IT化の進展等が郵便事業に及ぼす影響等について	外菌 博文 (研究官)
2月19日	郵政研究所セミナー	郵便の利用者ニーズの調査結果について	延原 泰生 (研究官)
2月26日	九州郵政局	IT化の進展等が郵便事業に及ぼす影響等について	外菌 博文 (研究官)
3月1日	北海道郵政局	郵便の利用者ニーズの調査結果について	延原 泰生 (研究官)
6月12日	東京郵政局	IT化の進展等が郵便事業に及ぼす影響等について	外菌 博文 (研究官)

## 第二 経営経済研究部

4月23日	郵政研究所セミナー	金融機関利用に関する意識調査 (平成13年度) 結果概要	倉澤 慶子 (研究官)
-------	-----------	------------------------------	-------------

月日	場所・講演会名等	テーマ	講演者
<b>第三経営経済研究部</b>			
1月22日	郵政研究所セミナー	地域経済見通し	佐々木文之（主任研究官）
11月13日	関東郵政局	都道府県別契約数でみた簡易保険の特性	小原 宏（研究官）
12月2日	信越郵政局	企業の経営指標に関する調査研究	須澤 淳（主任研究官）
<b>通信経済研究部</b>			
1月11日	佐原市市議会 議員有志	我が国インターネットの現状と組織におけるIT活用方策	島田 博也（研究官）
3月25日	中国郵政局	電子商取引の拠点としての郵便局	平野 純夫（研究官）
<b>通信経済研究部（技術研究開発担当）</b>			
3月29日	郵政研究所セミナー	マテリアルハンドリングの最適化に関する調査研究（中間報告）	松澤 勇一（主任研究官）
5月30日	郵政研究所セミナー	大口引受処理のIT化に関する調査研究	志坪秀一郎（主任研究官）
<b>附属資料館</b>			
8月24日	千葉県郵趣連合 習志野郵便局	効果的な展示	井上 卓朗（資料官） 富永 紀子（学芸員）
10月6日	郵便史研究会	逓信博物館の資料	井上 卓朗（資料官）
10月31日	前橋国際大学	飛脚制度について	井上 卓朗（資料官）



## 報道発表

月日	テーマ	発表部室等
4月17日	第7回 金融機関利用に関する意識調査（平成13年度） 結果概要	第二経営経済研究部
5月17日	「第14回郵政研究所研究発表会」の開催	研究交流課

# 研究交流

## Ⅲ

1	海外研究機関等との交流	48
2	特別研究官	49
3	客員研究官	50
4	その他各種研究会参加者	53

# 1

## 海外研究機関等との交流

### 1 研究交流協定等に基づく研究交流

#### (1) ドイツ通信科学研究所（WIK）

平成8年6月～

平成8年5月、日野市朗郵政大臣（当時）とヴォルフガング・ベツェ郵電大臣（当時）の日独大臣会合において郵政研究所とWIKとの研究交流の推進が合意したことを受け、同年6月、研究交流の実施に関する協定を締結。以降、研究官等の相互派遣、刊行物の交換等を実施。

平成14年については、年報、ディスカッションペーパー等刊行物を定期的に交換したほか、ノイマン所長が8月に来日し、郵政事業及び情報通信行政に関する意見交換及び講演会を実施。

#### (2) 韓国情報通信政策研究院（KISDI）

平成9年4月～

平成8年8月、日野市朗郵政大臣（当時）と庚奉均情報通信部長官（当時）の日韓大臣会合において、韓国側から郵政研究所とKISDIとの研究交流の実施について提案があり、平成9年4月、覚書を交換。以降、研究官等の相互派遣、刊行物の交換等を実施。

平成14年については、年報、ディスカッションペーパー等刊行物を定期的に交換。

### 2 海外からの研究者の受入れ

ユージーン・リー氏（韓国・淑明女子大学）

平成14年5月7日～7月12日

「郵政省と日本におけるIT革命」をテーマに調査研究及び講演会を実施。

### 3 海外への研究官の派遣

#### (1) ドイツ 平成14年6月4日～6月10日

第一経営経済研究部主任研究官を派遣。

「第10回郵便と配達のエconomicsに関する国際会議」に出席。

#### (2) 台湾 平成14年7月18日～7月21日

第一経営経済研究部主任研究官を派遣。

「効率性と生産性に関するアジア会議」に出席し、調査研究成果を発表。



# 2

## 特別研究官

氏名	期間	研究テーマ等	所属等
----	----	--------	-----

### 第二 経営経済研究部

チャールズ・ユウジ・ホリオカ	H4.12～H14.2	家計の金融資産選択に関する調査研究	大阪大学社会経済研究所教授
----------------	-------------	-------------------	---------------

### 第三 経営経済研究部

辻 正次	H4.10～H14.1	郵政研究所月報「調査・研究」の論文指導	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
------	-------------	---------------------	--------------------

### その他

松浦 克己	H4.5～H15.3	金融・実物資産及び負債を考慮した消費性向（貯蓄率）の決定、需要関数（消費）、資産選択の理論モデルと実証に関する調査研究	横浜市立大学商学部教授
-------	------------	---	-------------



# 3

## 客員研究官

氏名	期間	研究テーマ等	所属等
<b>第一 経営経済研究部</b>			
中島 隆信	H12.9～H15.3	郵便局における郵便事業の生産性の分析に関する調査研究	慶應義塾大学商学部教授
嶋口 充輝	H13.5～H14.3	郵便の利用者ニーズに関する調査	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
<b>第二 経営経済研究部</b>			
宮原 勝一	H9.4～H14.3	公的金融に関する調査研究	青山学院大学経済学部助教授
村本 孜	H11.9～H14.8	金融機関利用に関する調査研究	成城大学経済学部教授
寺崎 康博	H14.6～H15.3	家計の金融資産選択に関する調査等の利活用に関する研究	東京理科大学経営学部教授
村田磨理子	H14.6～H15.3	家計の金融資産選択に関する調査等の利活用に関する研究	財団法人統計情報研究開発センター 研究員
<b>第三 経営経済研究部</b>			
跡田 直澄	H12.12～H14.12	郵政研究所月報「調査研究論文」の論文指導	慶應義塾大学商学部教授
後藤 達也	H13.6～H15.3	家計の所得・消費パターンと地域特性に関する研究	和光大学経済学部経済学科専任講師
根本 二郎	H13.6～H15.3	地域マクロ経済の分析手法の研究	名古屋大学大学院経済学研究科助教授

氏名	期間	研究テーマ等	所属等
米澤 康博	H13.9～H14.6	公社債市場の動向に関する調査研究	横浜国立大学経営学部教授
<b>通 信 経 済 研 究 部</b>			
河村 真	H13.10～H14.8	世帯の通話需要に関する調査研究	法政大学経済学部教授
松原 寿一	H13.10～H14.9	流通過程における取引関係と情報システム化に関する調査研究	中央学院大学商学部講師
実積 寿也	H11.10～H14.8	世帯の通話需要に関する動向調査	長崎大学経済学部助教授
今川 拓郎	H13.10～H14.9	電気通信事業の規制と競争に関する調査研究	大阪大学国際公共政策研究科助教授
鳥居 昭夫	H13.10～H14.9	多チャンネル時代の放送市場の構造の変化に関する調査研究 電気通信事業の規制と競争に関する調査研究	横浜国立大学経営学部教授
山田 肇	H13.2～H14.1	情報通信分野における技術標準のあり方に関する調査研究	東洋大学経済学部教授（元国際大学グローバルコミュニケーションセンター教授）
許斐 義信	H13.3～H14.2	情報通信分野における技術標準のあり方に関する調査研究	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
高橋 修	H13.3～H14.2	情報通信分野における技術標準のあり方に関する調査研究	富士通テン(株)常務取締役
最上 健児	H13.10～H14.9	流通過程における取引関係と情報システム化に関する調査研究	明治大学商学部講師
中村伊知哉	H13.9～H14.8	情報通信分野における技術標準のあり方に関する調査研究 インターネットコンテンツ統計に関する調査研究	マサチューセッツ工科大学メディアアラボ客員教授
三友 仁志	H13.9～H14.8	電気通信トラヒックの特性と社会経済環境の化に関する調査研究	早稲田大学国際情報通信研究センター教授



氏名	期間	研究テーマ等	所属等
<b>通信経済研究部（技術開発研究担当）</b>			

甘利 武司	H12.10～H14.6	新型区分機用次世代インクに関する調査研究	千葉大学工学部教授
-------	--------------	----------------------	-----------

### 附 属 資 料 館

若井 登	H10.4～H15.3	電気通信の歴史に関する研究	財団法人電気通信振興会技術顧問
------	-------------	---------------	-----------------

橋本 輝夫	H13.4～H15.3	郵便の歴史に関する研究	元通信博物館資料官
-------	-------------	-------------	-----------

### そ の 他

滋野由紀子	H8.4～H15.3	金融・実物資産及び負債を考慮した消費性向（貯蓄率）の決定、需要関数（消費）、資産選択の理論モデルと実証に関する調査研究	大阪市立大学経済学部助教授
-------	------------	---	---------------

竹澤 康子	H9.5～H15.3	郵便局でのワンストップ行政サービス実現に係る法制度的課題等に関する調査研究	東洋大学経済学部教授
-------	------------	---------------------------------------	------------

戸井佳奈子	H13.2～H15.3	金融・実物資産及び負債を考慮した消費性向（貯蓄率）の決定、需要関数（消費）、資産選択の理論モデルと実証に関する調査研究	安田女子短期大学専任講師
-------	-------------	---	--------------

# 4

## その他各種研究会参加者

氏名	期間	研究会名	所属等
<b>第二経営経済研究部</b>			
村本 孜	H14. 1～H15. 1	個人金融分野の経営指標と業績評価に関する調査研究会	客員研究官
岡崎 哲二	H14. 1～H15. 1	個人金融分野の経営指標と業績評価に関する調査研究会	東京大学大学院経済学研究科教授
佐々木圭吾	H14. 1～H15. 1	個人金融分野の経営指標と業績評価に関する調査研究会	横浜市立大学商学部助教授
新宅純二郎	H14. 1～H15. 1	個人金融分野の経営指標と業績評価に関する調査研究会	東京大学大学院経済学研究科助教授
日向野幹也	H14. 1～H15. 1	個人金融分野の経営指標と業績評価に関する調査研究会	東京都立大学経済学部教授
三村優美子	H14. 1～H15. 1	個人金融分野の経営指標と業績評価に関する調査研究会	青山学院大学経営学部教授
山下 裕子	H14. 1～H15. 1	個人金融分野の経営指標と業績評価に関する調査研究会	一橋大学商学部助教授
小澤千穂子	H14. 10～H15. 3	安心できる地域社会インフラに関する研究会	大妻女子大学家政学部専任講師
袖井 孝子	H14. 10～H15. 3	安心できる地域社会インフラに関する研究会	お茶の水女子大学生生活科学部教授

氏名	期間	研究テーマ等	所属等
細野 助博	H14.10～H15.3	安心できる地域社会インフラに関する研究会	中央大学総合政策学部教授
吉野 直行	H10.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	慶應義塾大学経済学部教授
米澤 康博	H10.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	横浜国立大学経営学部教授
小西 大	H10.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	一橋大学大学院商学研究科助教授
随 清遠	H10.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	横浜市立大学商学部助教授
三井 清	H10.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	明治学院大学経済学部教授
蠟山 昌一	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	高岡短期大学長
大野 早苗	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	高千穂大学商学部講師
佐々木百合	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	明治学院大学経済学部助教授
清水 克俊	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	青山学院大学経済学部講師
相沢 幸悦	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	埼玉大学経済学部教授
浅野 幸弘	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	横浜国立大学経営学部教授
胥 鵬	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	法政大学経済学部助教授
高橋 正彦	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	横浜国立大学経営学部教授
中北 徹	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	東洋大学経済学部教授
花崎 正晴	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	一橋大学経済研究所助教授
原田喜美枝	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	大東文化大学経済学部講師
細野 薫	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	名古屋市立大学経済学部助教授
宮島 英昭	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東）	早稲田大学商学部教授

氏名	期間	研究テーマ等	所属等
コリン・マッケンジー	H10.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
林 敏彦	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
井澤 裕司	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	立命館大学経済学部教授
岩佐 代市	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	関西大学商学部教授
鹿野 嘉昭	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	同志社大学経済学部教授
平山健二郎	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	関西学院大学経済学部教授
福重 元嗣	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	神戸大学大学院経済学研究科助教授
宮下 洋	H11.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	京都産業大学経営学部教授
戸井佳奈子	H12.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	客員研究官
北坂 真一	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	神戸大学大学院国際協力研究科助教授
櫻川 昌哉	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	名古屋市立大学経済学部助教授
チャールズ・ユウジ・ホリオカ	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	特別研究官
亀坂(村瀬)安紀子	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	龍谷大学経済学部助教授
家森 信善	H13.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関西）	名古屋大学経済学部助教授
松浦 克己	H10.4～H14.3	ファイナンス・フォーラム（関東・関西）	特別研究官



氏名	期間	研究テーマ等	所属等
<b>第三経営経済研究部</b>			
伊藤 薫	H13.9～H15.3	地域マクロ経済の分析手法の研究	岐阜聖徳学園大学経済情報学部助教授
<b>通信経済研究部</b>			
許斐 義信	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
山田 肇	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	東洋大学経済学部教授
加納 貞彦	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	早稲田大学国際情報通信研究センター教授、工学博士
高橋 修	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	富士通テン(株)常務取締役
田中善一郎	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	(株)日経BP常務取締役
田中 辰雄	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	慶應義塾大学経済学部助教授
林 哲史	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	(株)日経BP日経バイト編集長
鬼木 甫	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	大阪学院大学経済学部教授 大阪大学名誉教授
櫻井 豊	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	シスコシステムズ(株)アライアンス&テクノロジー本部 イマージングビジネス開発本部本部長
真野 浩	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	モバイルインターネットサービス(株)代表取締役
池田 信夫	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	独立法人経済産業研究所上席研究員
江崎 浩	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	東京大学大学院情報理工学系研究科助教授、工学博士

氏名	期間	研究テーマ等	所属等
辻 孝夫	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	日商エレクトロニクス(株)テレコムインフラ営業統括 常務取締役 フュージョン・コミュニケーションズ(株)取締役
西岡 郁夫	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	モバイル・インターネットキャピタル(株)代表取締役、工学博士
藤島 啓	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	㈱村田製作所名誉顧問、工学博士
妹背 徹	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	㈱村田製作所回路モジュール商品事業部企画・販推部商品技術課係長
田中 薫	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	㈱村田製作所営業本部販売推進部販売推進課係長
宮原 秀夫	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	大阪大学大学院情報科学研究科科長・教授、工学博士
新宅純二郎	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	東京大学大学院経済学研究科助教授、経済学博士
服部 武	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	上智大学理工学部電気・電子工学科教授、工学博士
安川 秀樹	H13.3～H14.7	情報通信分野における国際競争力に関する調査研究会	松下電器産業(株)マルチメディアシステム研究所企画推進グループグループマネージャー
<b>通信経済研究部（技術開発研究担当）</b>			
小野 耕三	H13.11～H14.3	書留郵便物等の処理方法の効率化に関する技術研究会	㈱流通システム開発センター常務理事



# 附属資料館の概要

## IV

附属資料館は、社会教育の場としての博物館業務を通じて郵政に関する文化の啓発、普及を図るとともに、郵政事業について広く一般の理解を深め、事業の発展に寄与することを目的として設置されている。

このような趣旨に即し、附属資料館においては、郵政事業の持つ長い歴史とその間に培われた郵政文化及びその基盤の上に発展する郵政事業の現況や将来展望について、実物資料の展示等様々な手法で紹介している。

## 1 展示

小学生の高学年を対象として、明日の日本そして世界を担う子供たちに興味を持ってもらいやすいように、社会背景などを踏まえた分かりやすい内容から、徐々に深い詳細情報までたどり着けるような階層構造の展示で情報を提供。

## 2 マルチメディア化

### (1) 資料のデジタル化

所蔵品の劣化の防止、資料等の管理事務の効率化を図るために切手資料、図書資料、一般資料、写真資料データのデジタル化及びデータベース化を行った。これにより世界各国の切手情報を来館者に館内のパソコンから提供が行えるなど、お客様からの様々な資料提供依頼に迅速かつ正確に対応できるようにしている。

### (2) サイバー化

博物館専用のホームページを開設し、リファレンスコーナーにおいては、来館者がインターネットの体験も行えるようにしている。また、ドイツの「2000年ハノーバー国際博覧会」に展示された、切手画像検索システム（ハノーバーシステム）を設置している。

## 3 最新システムの導入による電子博物館化

郵便配達を体験できる郵便配達シミュレーター、ゲーム世代に対応した貯金・保険のロール

プレイングゲーム、近未来のマルチメディア環境を疑似体験できるマルチメディアシミュレーター3D立体映像で見る「郵便の届くまで」等最新の情報技術を活用したシステムを導入し電子博物館化を図っている。

## 4 活動状況（特別展・企画展等の開催）

平成14年には、特別展を19回（郵政13回、NHK2回、三機関共催4回）、企画展を6回開催し、郵政文化等普及のための多彩な展示活動を行った。（詳細は別表1、2のとおり。）主な特別展の概要は次のとおりである。

### (1) おもしろ郵便のつくりかた展

#### ア 期間

平成14年1月8日（火）～2月3日（日）

#### イ 主な内容

郵趣家・酒井正雄氏のコレクションから「こんなものに切手を貼って送れるの?」といったおもしろい形や素材の郵便物や消印コレクションを展示。また当館所蔵資料より、話題性の高いテーマの国内外の切手や各地の郵便局から届いた風景印を紹介し、併せてアドカード、絵手紙も展示した。

（期間中の入館者数 16,945人）

### (2) 第52回全日本切手展2002

#### ア 期間

平成14年4月20日（土）～4月25日（木）

#### イ 主な内容

全国から応募した切手コレクションの中から優秀な作品約300点を展示。切手を収集する楽しさを紹介し、期間中は平成13年発行切手の人気投票コーナーやクイズ大会、切手教室の開催等を行った。

（期間中の入館者数 6,334人）

### (3) 情報通信イベント

あそぼう!学ぼう!おもしろ王国



ア 期間  
平成14年5月3日(金)～6月9日(日)

イ 主な内容  
情報通信や放送の普及・振興を図るため、21世紀のマルチメディア時代を担う子供たちに気軽に楽しくマルチメディアの世界を体験し、あそびながら、学べるイベントを実施した。  
(期間中の入館者数 25,090人)

#### (4)「通信博物館の100年」展

ア 期間  
平成14年6月15日～7月28日(日)

イ 主な内容  
明治35(1902)年6月20日、万国郵便連合加盟25周年の記念事業として郵便博物館(通信博物館)は創設されてから今年で100年を迎えた。そこで、これを記念したイベントや博物館の100年を振り返る貴重な写真や資料を紹介した。

[記念イベント]

- ・博物館の「お宝」  
～日本の電気通信の夜明け～  
重要文化財指定「エンボッシング・モールス電信機」などの通信実験を行った。
- ・NHK「ひるの散歩道」公開生放送など  
(期間中入館者数 21,387人)

#### (5)親子で作ろう！ 電波工作・電波利用環境展

ア 期間  
平成14年8月9日(金)～8月11日(日)

イ 主な内容  
親子で「AMラジオ」の組み立て、電波に関するパネルの展示、電波利用環境保護のビデオ上映など、不思議でおもしろい電波の世界を体験できるイベントを実施した。  
(期間中入館者数 2,732人)

#### (6)夏休み！ファミリーランド 世界名作人形劇フェスティバル

ア 期間  
平成14年8月17日(土)～9月1日(日)

イ 主な内容  
「世界名作ぬいぐるみ人形劇」、「楽しく作ろう！夏休み工作教室」、「影絵劇団かしの樹ファンタジーワールド」等おもしろさ、不思議さに出会える遊びのプログラムを満載し、夏休みの子供たちが友達や家族と一緒に楽しめる盛りだくさんのイベントを実施した。  
(期間中入館者数 24,078人)

### 5 資料収集、教育普及活動

#### (1)寄贈・購入等による資料収集

平成14年においては、前島密自筆書簡、明治17年3月発行郵便必携、明治36年日本事物起源などの購入を行った。また、大阪鉄道郵便局の歩み、手彫り時代の郵便史、飛脚状、逓信院保険料領収書、1号丸型ポスト、簡易保険周知用扇子、ダニエル電池復元品、マルコーニ火花送信機等様々な貴重資料が多数の方から寄贈された。

#### (2)資料提供

平成14年における、各種資料の閲覧、貸出、撮影及びデータ・情報の提供は約2,800件に及んでいる。

#### (3)博物館実習への協力

社会教育の一環として、大学等在学中の学芸員課程受講者を対象に、5月より毎月10日間3名ずつ計24名の博物館学芸員実習生の受け入れを行った。

#### (4)年賀状用版画の作り方教室の開催

年賀状の売り出し時期に合わせて、11/9～12/8までの土・日曜日に計10回にわたって木版による手作り年賀状の作り方教室を開催した。

## 6 「前島密と近代郵便のあけぼの」等 展示場コーナーの開設

2階常設展示場に郵政展示コーナー「前島密と近代郵便のあけぼの」が平成14年3月9日にオープンした。郵便の父前島密の業績を紹介するとともに、創業時の郵便の状況や日本の近代化に郵政事業が果たした役割を紹介している。また、掛箱や赤いポストの移り変わりを紹介した「ポストの変遷コーナー」や「電気通信のあけぼのコーナー」として重要文化財「平賀源内のエレキテル」、「ペリー提督献上のエンボッシング・モールス電信機」の複製を新たに展示している。

## 7 「ブレゲ指字電信機」が重要文化財指定

明治2(1869)年に東京～横浜間で日本最初の公衆電信が開通した。この時に使用された電信機が、フランスのブレゲ社が製作したもので、当館で携帯型指字電信機と送信機及び受信機2点を所蔵しているが、これが平成14年6月26日に国の重要文化財に指定された。

## 8 重要文化財等による通信実験

若井登客員研究官、通信総合研究所との共同研究により以下の重要文化財等が作動するようになったことから、「ペリー提督献上のエンボッシング・モールス電信機」、「榎本武揚のディニエ印字電信機」、「ブレゲ指字電信機」それぞれの電信機同士での対向通信実験及び「エレキテル」の機能模型を使った静電気実験を通信博物館の100年展で行った。

また、エンボッシング・モールス電信機の通信実験においては、ダニエル電池と電信柱を製作し、当時と同じ状況での通信実験を行った。

## 9 佐久間象山製作 「電気治療器」の保存・修理

万延元(1860)年頃、佐久間象山が50歳の時に夫人の虎列刺病を治すために製作したと言われ、日本で初めて動電池(ボルタの電池)を使用した「電気治療器」を当館で所蔵しているが、素地の割れ、収縮、剥離等全体に劣化が著しいため、現在修理中である。

※ボルタの電池～銅の筒の中に亜鉛板を挟み、その中に稀硫酸溶液を入れたもの。

別表1 平成14年特別展開催状況

機関名	特別展名	会期	日数
資料館	「おもしろ郵便のつくりかた」展	1月 8日 (火) ～ 2月 3日 (日)	24
NHK	NHK大河ドラマ「利家とまつ～加賀百万石物語～」展	2月 9日 (土) ～ 2月24日 (日)	14
郵政事業庁	第34回手紙作文コンクール(絵手紙部門)及び第51回全日本年賀状版画・絵手紙コンクール中央展	3月 1日 (金) ～ 3月10日 (日)	9
沖縄総合通信 事務所	沖縄の物産展	3月13日 (水) ～ 3月15日 (金)	3
三機関	春休み!キッズカーニバル 「人形劇ファミリーフェスティバル」	3月21日 (木) ～ 4月 4日 (水)	13
郵政事業庁	第25回「手作りの絵はがき」コンクール入賞作品展	4月 7日 (日) ～ 4月14日 (日)	7
郵政事業庁	第52回全日本切手展2002	4月20日 (土) ～ 4月25日 (木)	5
郵政事業庁	切手クラフト(切手はり絵)作品展	4月27日 (土) ～ 4月28日 (日)	2
三機関	情報通信・放送イベント あそぼう!学ぼう!おもしろ王国	5月 3日 (金) ～ 6月 9日 (日)	33
資料館	「通信博物館の100年」展	6月15日 (土) ～ 7月28日 (日)	37
郵政事業庁	第30回夏休み切手まつり(サマーペックス'02)	8月 3日 (土) ～ 8月 4日 (日)	2
総務省	親子で作ろう!電波工作・電波利用環境展	8月 9日 (金) ～ 8月11日 (日)	3
三機関	夏休み!ファミリーランド 世界名作人形劇フェスティバル	8月17日 (土) ～ 9月 1日 (日)	14
三機関	2002NHK学園オープンスクール作品展	9月 6日 (金) ～10月14日 (月)	34
郵政事業庁	第28回「私のアイデア貯金箱」コンクール作品中央展示会	11月 1日 (金) ～ 1月 9日 (土)	8
資料館	年賀状版画の作り方教室	11/9、10、16、17、23、24、30 12/1、7、8	10
資料館	ポストカードギャラリー ～クリスマス&ニューイヤーはポストカードで～	11月15日 (金) ～12月 1日 (日)	15

機関名	特別展名	会期	日数
資料館	スタンプ&エンボスパウダー加工でつくる簡単でおしゃれな年賀状・クリスマスカード教室	12月 6日(金)～12月 23日(月)	16
NHK	セサミストリートで遊ぼう!	12月 7日(土)～12月 23日(月)	15

(備考) 三機関とは、総務省郵政研究所附属資料館、NTT東日本及びNHKを指す。

---

## 別表2 平成14年附属資料館企画展開催状況

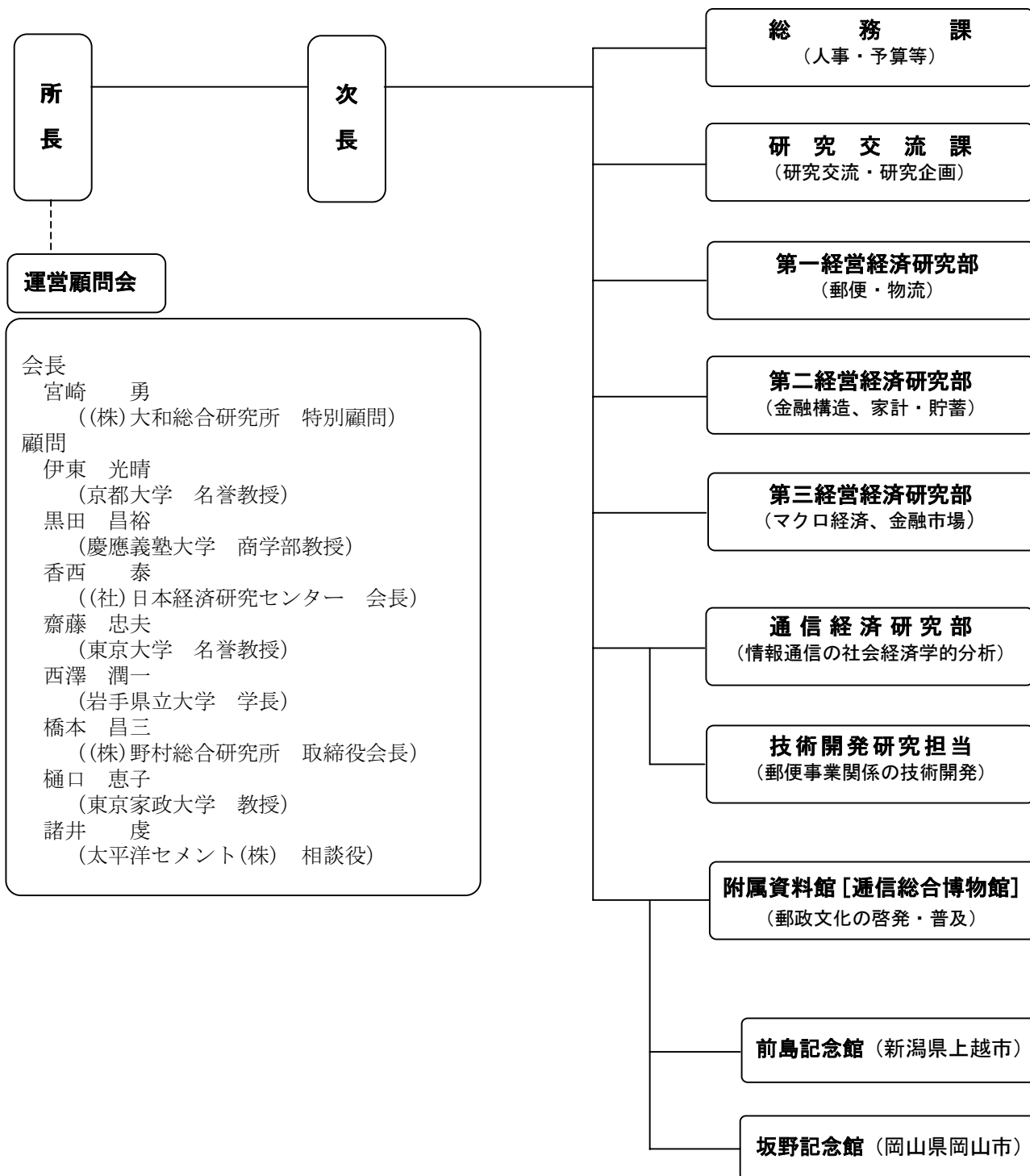
---

企画展名	会期	日数
おもしろ郵便～アドカード編～	1月 8日 (火) ～ 2月 3日 (日)	24
第34回「受信環境クリーン図案コンクール」入賞作品展	4月 7日 (土) ～ 5月12日 (日)	14
新収蔵寄贈資料展	6月14日 (金) ～ 7月21日 (日)	33
第28回「私のアイデア貯金箱」コンクール作品展 東京地方展示会	10月10日 (木) ～ 11月 4日 (月)	23
ていぱーく資料に見るお正月	11月15日 (金) ～ 12月 1日 (日)	15
心尽くしの年賀状展	12月 6日 (金) ～ 1月 5日 (日)	22

---

# 郵政研究所の組織

V



【連絡先】

総務課	03-3224-7308	通信経済研究部	03-3224-7389
研究交流課	03-3224-7310	技術開発研究担当	03-3224-7373
第一経営経済研究部	03-3224-7324	附属資料館（逓信総合博物館）	03-3244-6821
第二経営経済研究部	03-3224-7333	郵政研究所URL	<a href="http://www.iptp.go.jp/">http://www.iptp.go.jp/</a>
第三経営経済研究部	03-3224-7347	E-mail	<a href="mailto:www-admin@iptp.go.jp">www-admin@iptp.go.jp</a>

---

---

郵政研究所年報 平成14年

---

平成15年2月28日発行  
発行 総務省郵政研究所  
〒106-8798 東京都港区麻布台1-6-19  
電話 03-3224-7310  
FAX 03-3224-7382

---

---